



かがやき

教育目標「知性・敬愛・活力」

妙高高原中学校だより第8号



令和2年11月30日発行

あなたの力で、いじめは止められるのです

校長 重野 準司

秀峰妙高山の頂はもう何度となく白い雪に覆われ、間もなく本格的な冬がやってきます。新型コロナウイルスは依然として猛威を振るい続けていますが、妙高高原中学校は、安全対策等で保護者の皆さまの多大なお力添えをいただきながら、これまで着実に歩みを進めてまいりました。今後は、本年をしっかりと締めくくるべく、一層気を引き締めてまいります。引き続き、皆さまのご理解、ご協力をお願い申し上げます。

さて、この25日に、今年度より妙高市のスクールロイヤーに就任された上越中央法律事務所の田中淳哉弁護士をお招きして、いじめの未然防止の観点から、法的側面からの予防教育等を通じた生徒の「人権感覚」の研磨を目的に、ご講演をいただきました。

田中弁護士のご講演をお聞きして一番印象に残っていることは、「いじめの四層構造」についてのお話です。いじめの四層構造とは、最も内側に「被害者」がいて、その次に「加害者」、更にその次に「観衆」、そして最も外側に「傍観者」がいるというものです。直接的には加害者がいじめの加害側の当事者ですが、観衆や傍観者の行動や態度が、加害者の行動を大きく左右すると言うのです。例えば、観衆がはやし立てたり面白がって見ていたりすることで加害者の行動は一層エスカレートしてしまふことがあります。また、傍観者としていじめを見て見ぬふりをする行為も加害者の行動を肯定することになり得るのです。もし、周りで見ている人が加害者の行動を否定する言葉を発し、それが広がっていけば、いじめを止めることができると、いじめを止める上での、直接的には関わっていない者の行動、態度の重要性を力説されました。

講演はおよそ50分間でしたが、時折発せられる田中弁護士からの問いに答えながら、生徒は終始真剣な態度で話に聞き入っていました。特に、1986年に発生した中学2年生の男子生徒がいじめを苦に自殺した事件を取り上げて話された時には、どの生徒もあまりの不当性に憤りを禁じ得ない様子でした。講師の話はとても分かりやすく、本当に貴重な機会をいただいたと感謝しております。

最後に、12月は今年度2回目（1回目は7月）の「人権強調月間」です。この間にどの学級でも人権教育、同和教育の授業を実施します。すべては人間が本来持ち合わせている人権感覚を呼び覚ますこと、磨き直すことが目的です。差別や偏見は、この人権感覚が磨かれていないと見抜くことができません。そして、この人権感覚は磨かなければさびてしまうのです。生徒には、日頃あまり意識することのない人権について、この機会にしっかり考えを深めてもらい、自身の人権感覚を磨き直してもらいたいと願っています。それは生徒だけでなく、私たち教職員も同様です。私たちは、生徒を導く立場にあることを深く自覚し、人権感覚につきましても、謙虚に磨き直しに努めます。

田中弁護士からのメッセージ 「いじめを止めたいと思っている人は、本当はたくさんいます。あなたの力で、いじめは止められるのです。」



11月6日 駅伝県大会 有終の美を飾る



新潟県中学校駅伝大会が、越後丘陵公園特設コースで開催されました。今年は、新型コロナウイルスの影響で全国、北信越大会がない県大会となりました。

【女子】総合4位 ※全50チーム中

1区 3.05km	永高こと葉 (2)	区間 4位
2区 2.00km	岡田七海 (1)	区間 4位
3区 2.00km	宮下美幸 (3)	区間 5位
4区 2.00km	岡田紅愛 (3)	区間 3位
5区 3.00km	岡田由愛 (3)	区間 5位

【男子】総合14位 ※全50チーム中

1区 3.05km	岡田幸也 (3)	区間 4位
2区 3.00km	岡田陽色 (3)	区間 10位
3区 3.00km	須賀田虎珀 (3)	区間 16位
4区 3.00km	後藤涼祐 (2)	区間 5位
5区 3.00km	馬場慎平 (3)	区間 35位
6区 3.00km	駒村隼 (1)	区間 46位

選手、保護者、コーチ、顧問がひとつになり素晴らしいチームを作り上げました。結果もさることながら、その努力の過程にエールを送ります！

11月9日 ふるさと講演会 ～夢に向かって～

恒例になりました妙高高原地区小中PTA連合会主催のふるさと講演会が行われました。妙高高原ご出身またはご縁のある方を講師に招聘し、中学校区の小学6年生と中学生、保護者を対象にしたものです。

今年の講師は、妙高高原南小卒、本校卒の先輩にも当たる長崎和志さんです。長崎さんは、24歳の時にスノーボード事故で重い障害を負い車イスでの生活になりました。しかし、挫折から立ち直り、明るく前を向いて車イスを利用したスポーツにチャレンジしています。

講演と車イスを使った実技講習から、長崎さんのものすごいパワーをいただきました。まさにアスリートの生き方そのものです。最後に、夢や目標に向かって「決断」し「続けること」の大切さと、その次の一歩についてアドバイスをいただきました。

同日、中学校PTAによる冬囲い作業が行われました。ご協力ありがとうございました。



11月13日 3年生思い出作り旅行



予定していた修学旅行の中止を受けて、3年生がバス旅行に出かけました。

2泊3日から1日、京都方面から山梨県富士急と規模は大きく縮小されましたが、中学時代の貴重な思い出を作ることができたことでしょうか。この時期にしては暖かな気候にも恵まれ、天も味方してくれました。

感染対策で思い切り大きな声で笑ったり、バスの中で歌ったりすることはできませんでしたが、仲間とこうして旅行に行けたことは忘れがたい宝物になっ

たに違いありません。バスで片道約4時間、富士急ハイランド遊園地でお土産や買い物も含めて5時間、子どもたちは心地よい疲れとともに無事に帰着しました。

この旅行に対してご理解とご協力いただいた保護者の皆様、ありがとうございました！

11月26日 地域と共に いじめ見逃しゼロスクール集会



集会のメインは、いじめをテーマにした「話し合い活動」になりました。今回は、その話し合い活動に地域のサポーター9名からも参加していただきました。CS委員、保護者、アスリートなど、大人が話し合いに入り意見交流する場面は貴重な時間となりました。子どもや教職員にとっても、地域の方にとっても有意義で互惠性のある活動になったことと思います。

集会のまとめとして、いじめをなくそう宣言を行い、いじめ見逃しゼロに向けた行動目標が担当委員会から発表されました。

全国各地で、再び新型コロナウイルス感染が拡大傾向にあり、私たちの身近にも感染が確認されています。今後、ますます感染拡大が心配される状況となりました。

このコロナ禍だからこそ、私たちは冷静に状況を判断し、他者を思いやる言動をすることが求められていると強く感じます。

保護者の皆様や地域の皆様からも引き続き、ご理解とご支援をいただきますようお願い申し上げます。



